

石狩管内水産業の概要

石狩振興局産業振興部水産課

令和4年3月

目 次

1	自然環境	-----	1
2	地域の現状	-----	1
3	水産業の概要	-----	1
(1)	漁業生産	-----	1
(2)	管内海面漁業の特徴	-----	2
(3)	組合員数	-----	3
(4)	組合員の年齢構成	-----	3
(5)	漁船隻数	-----	4
(6)	漁港	-----	4
(7)	栽培漁業の取り組み	-----	5
(8)	内水面漁業	-----	7
(9)	漁業金融対策	-----	7
(10)	石狩後志海区漁業調整委員会	-----	8
(11)	石狩・後志管内漁業士会	-----	10
	令和元年漁業生産高	-----	12
	石狩のさかなの旬	-----	13

石狩振興局管内水産業の概要

令和 4 年 3 月

1 自然環境

石狩地方は、北海道の西部に位置し、歴史としては、明治時代に松前藩が現在の石狩市にサケ交易場を設置するなど、さけ漁・にしん漁といった漁業により栄えてきた地域である。

石狩湾に面する約72kmにわたる沿岸は、砂浜や段丘、岩磯が連なる変化に富んだ海岸線を有するとともに、石狩川などから運び込まれる豊富な栄養分によって、海藻類の繁茂する藻場が浅海に広がるなど、恵まれた自然条件の下に豊かな藻場や漁場が形成されている。



2 地域の現状

石狩管内は、6市1町1村からなるが、そのうち、海に面し海面漁業が行われているのは、石狩市のみであり、沿海漁協は、石狩湾漁協の1単協となっている。

また、石狩市・江別市・新篠津村では石狩川において、千歳市では支笏湖において、内水面漁業が行われている。

3 水産業の概要

(1) 漁業生産

令和2年の海面漁業生産は、数量4,746トン、金額20億3千万円となり、前年比では、数量で151%、金額で154%と数量、金額ともに減少しており、主な要因は主力魚種であるサケとニシンの豊漁によるものである。

一方、内水面漁業生産は、数量33トン、金額16百万円となっている。

<海面漁業生産量・生産額>

(単位：トン、千円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年
管内数量	3,456	3,682	3,832	3,306	3,146	4,746
全道数量	1,001,701	859,926	854,223	1,017,441	1,079,227	1,143,996
管内/全道	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%
管内金額	1,834,932	1,857,737	2,660,641	1,687,525	1,324,543	2,034,655
全道金額	311,610,571	295,144,040	278,540,930	279,509,863	238,763,279	202,723,299
管内/全道	0.6%	0.6%	1.0%	0.6%	0.6%	1.0%

(資料：北海道水産現勢〔種苗生産除く統計資料〕)

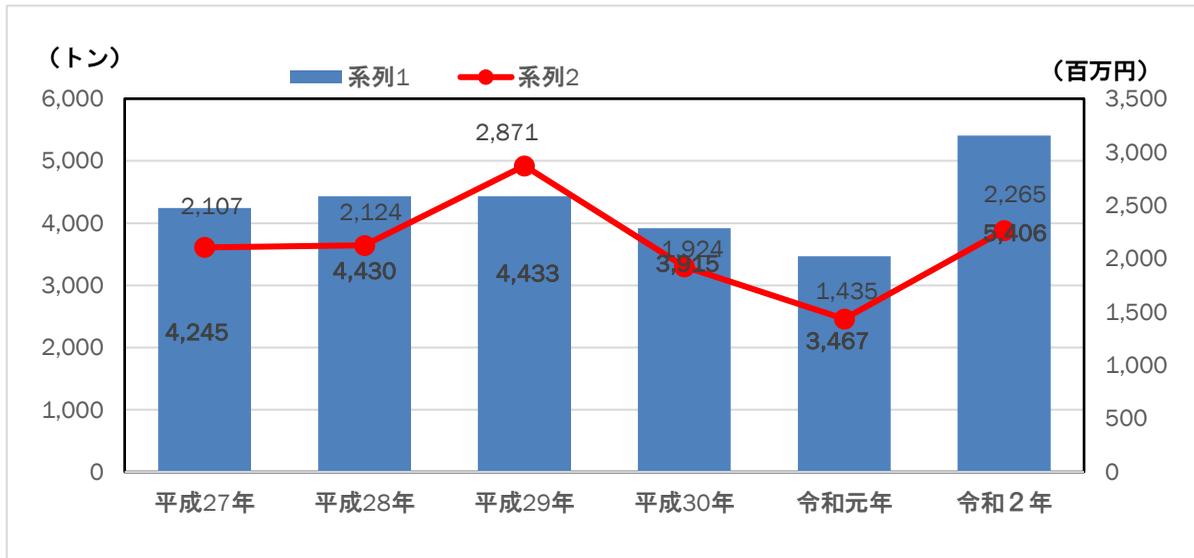
＜ホタテ稚貝種苗生産等を含めた海面漁業生産高の推移＞

(単位：トン、千円)

年次	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年
数量	4,245	4,430	4,433	3,915	3,467	5,406
金額	2,107,421	2,124,056	2,871,729	1,924,729	1,435,535	2,265,483

※ホタテ稚貝、半成員の生産を含む

(資料：石狩湾漁業協同組合)



(2) 管内海面漁業の特徴

管内の主要生産魚種は、サケ・ニシン・ナマコ・ホタテガイであり、これらの魚種で数量、金額の90%、を占めている (R2種苗生産含む)。

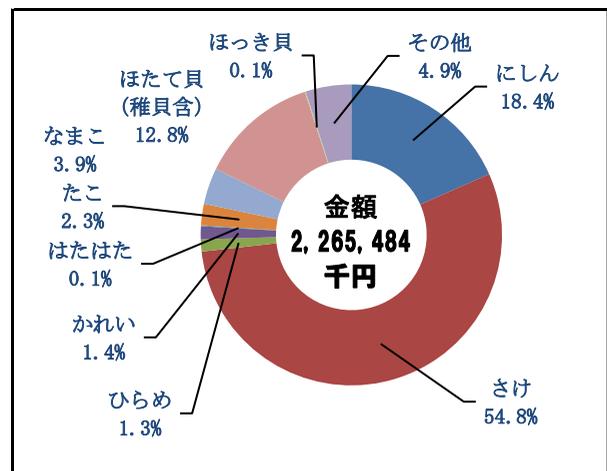
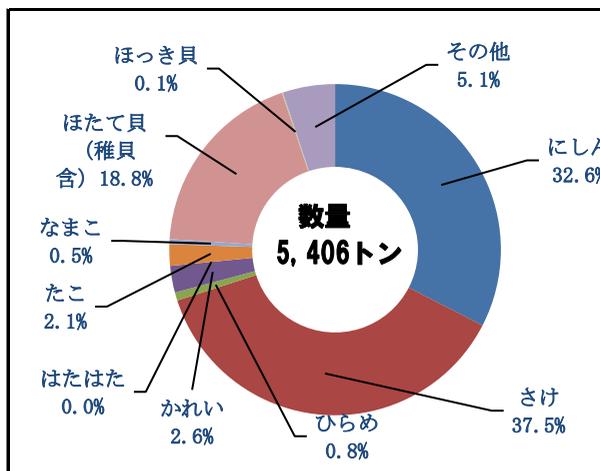
特に近年は、ニシン・ナマコの割合が大きくなっている。

また、漁業資源の維持増大を図るため、「サケ」・「ヒラメ」・「ニシン」・「ハタハタ」のふ化放流や「ウニ」・「アワビ」などの種苗放流を行うなど栽培漁業を推進している。



『ニシンの群来』
R2.2.17 厚田区

＜令和2年魚種別生産の構成＞



資料：石狩湾漁業協同組合

(3) 組合員数（正・准）

組合員数は、新規加入があるものの高齢組合員の脱退等により、漸減している。

<地区別組合員の推移>

(単位：名)

地区名	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年
浜益	30	33	31	30
厚田	40	37	37	38
石狩	41	42	42	42
計	111	112	110	110

※ 正組合員1法人、准組合員2法人 含む

資料：石狩湾漁業協同組合

(4) 組合員の年齢構成（令和3年12月31日現在、正・准組合員（法人除く））

当管内の組合員の年齢構成は、40歳以上では全道比を13.3%下回っており高齢化は進んでいるものの、全道より緩やかに推移している。

<石狩湾漁協組合員の年齢構成>

(単位：名)

地区名	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計	平均年齢
浜益	1	4	5	5	8	5	28	55.3
厚田	1	12	3	9	8	5	38	51.5
石狩	4	6	6	7	8	10	41	55.7
計	6	22	14	21	24	20	107	54.1
構成比(%)	5.6	20.6	13.1	19.6	22.4	18.7	100%	—

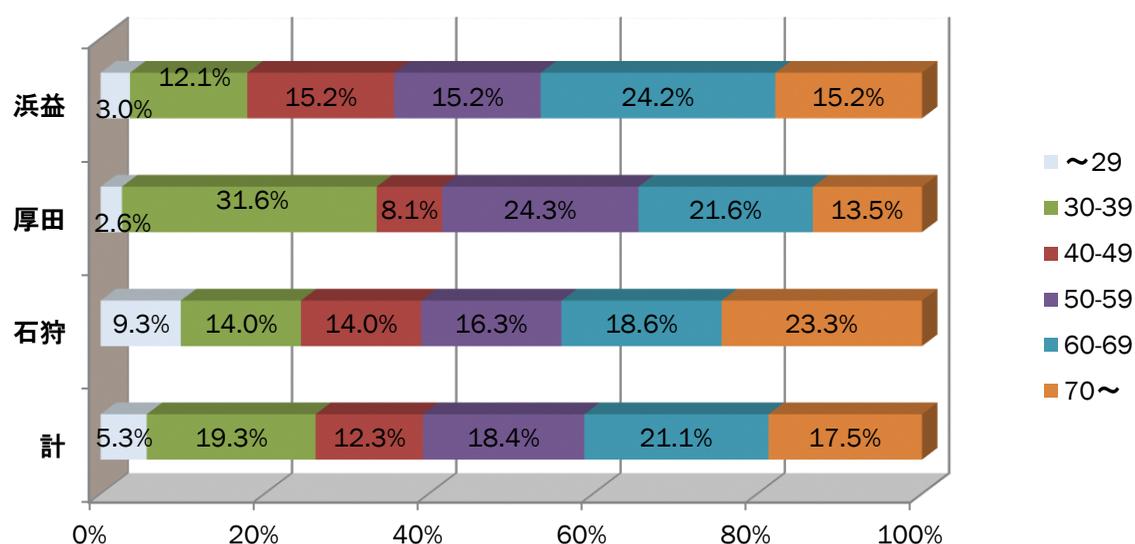
※ 正組合員1法人、准組合員2法人 除く

資料：石狩湾漁業協同組合

<全道漁協の組合員年齢構成（R2正組合員）>

地区名	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計	平均年齢
全道組合員数	502	1,316	1,992	2,874	3,579	3,775	14,038	—
構成比	3.6	9.4	14.2	20.5	25.5	26.9	100%	—

資料：漁業運営の参考資料（道漁連）



(5) 漁船隻数

令和2年の動力船の隻数は289隻で、このうち5トン未満船は261隻で約90%を占めており、主に刺し網漁業、採介藻漁業、定置網漁業などに着業している。

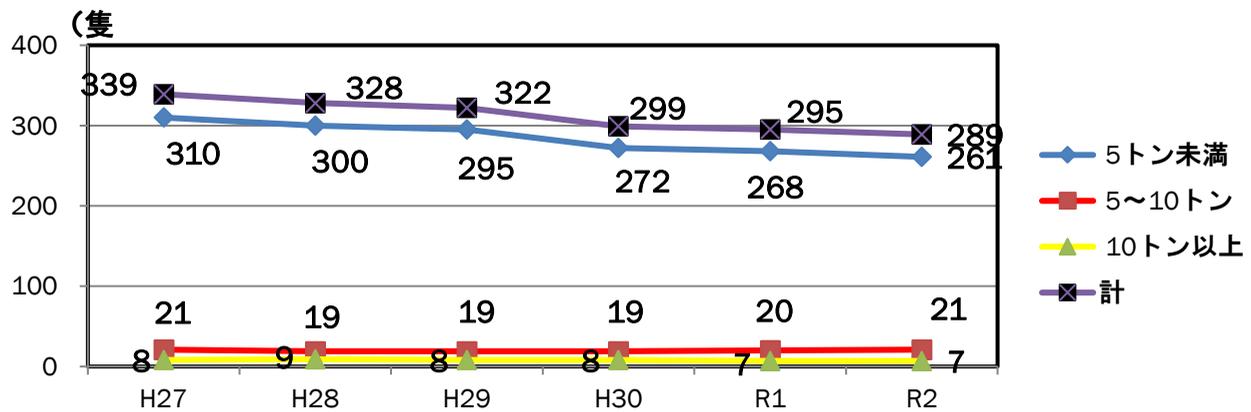
また、5～10トン未満船については21隻で約7%を占めており、主に刺し網漁業、定置網漁業、はえなわ漁業に着業している。

なお、10トン以上船については7隻で約2%を占めており、主に定置網漁業に着業している。

<漁船隻数の推移>

(単位：隻)

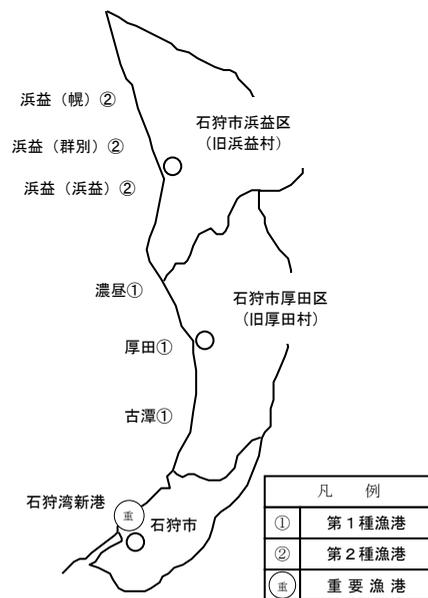
規 模	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年口
5トン未満	310	300	295	272	268	261
5～10トン	21	19	19	19	20	21
10トン以上	8	9	8	8	7	7
計	339	328	322	299	295	289



(6) 漁港

管内の漁港は、第2種1港〔浜益（浜益地区、群別地区、幌地区）〕、第1種3港（濃昼、厚田、古潭）の計4港です。なお、このほか重要港湾として石狩湾新港がある。

漁港位置図



<管内漁港一覧>

地区名	漁港名	種別	指定年月日
浜益	浜益	2	S26. 6. 29
〃	濃昼	1	S48. 3. 27
厚田	厚田	1	S26. 6. 29
〃	古潭	1	S29. 7. 12

(7) 栽培漁業の取り組み

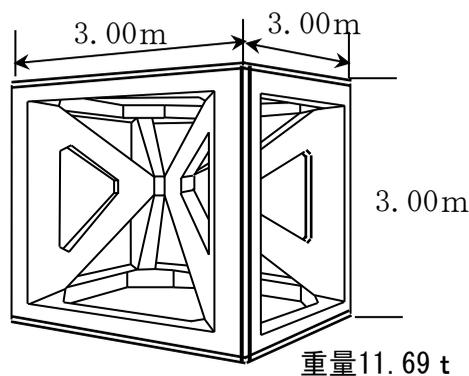
① 水産基盤整備事業（漁場）

本事業は、魚類やウニなどの生態に即し、外敵から隠れる場所や餌となる海藻の育成、ミズダコ等が産卵することができる基質（自然石、コンクリートブロックなど）を設置する事業である。

当管内では、公共事業となった昭和50年代から魚礁設置工事を継続して実施しており、平成27年度から新たに増殖場造成事業を実施している。



『魚礁設置工事』



『3.0m型FP魚礁』

○水産基盤整備事業（漁場）の過去3か年の実績

【魚礁設置】

工事名 石狩湾周辺地区愛冠沖合魚礁設置工事（水産土木工事）

設置場所 石狩市浜益区沖合

事業量

令和元年度□平成31年度)	令和2年度	令和3年度
FP魚礁3.00型 81個製作・設置	FP魚礁3.00型 144個製作・設置	FP魚礁3.00型 114個製作・設置

【藻場造成】

- 平成27年度から令和2年度に厚田小谷地区において、令和3年度に浜益毘砂別地区で増殖場造成事業（着定基質：ハタハタ産卵藻場造成事業）を実施している。

ハタハタは、茎のしっかりした海藻に卵を産み付けることが知られており、石狩管内では、主にフシスジモクに産卵している。
 このため、ハタハタ資源の維持増大を図るため、産卵環境を整備する藻場造成事業を実施している。

工事名 石狩湾周辺地区厚田小谷増殖場造成工事（水産土木工事）

設置場所 石狩市厚田区小谷地先

事業量

令和元年度 (平成31年度)	令和2年度□
アルガベース155基製作 155基設置	アルガベース125基製作 125基設置

工事名 石狩湾周辺地区浜益毘砂別増殖場造成工事（水産土木工事）

設置場所 石狩市浜益区毘砂別地先

事業量

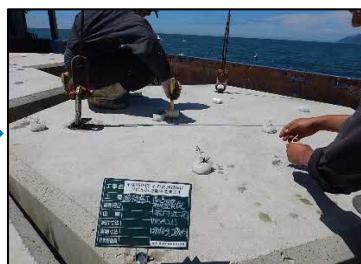
令和3年度
アルガベース400基製作 400基設置

【ハタハタ産卵藻場の造成方法】

①人工種苗の生産



②人工種苗の装着（イメージ）



③造成海域へブロック据付



⑤海藻への産卵



② サケ・マス増殖事業

当管内で最も重要な魚種である秋サケの資源増大を目指し、親魚捕獲からふ化放流までの事業が行われている。当管内では石狩川、厚田川、浜益川から3千万尾を超える稚魚が放流されている。事業は「(一社)日本海さけ・ます増殖事業協会」が行い、道がその指導・調整を行っている。

③ 日本海ニシン増大対策事業

日本海ニシン資源増大プロジェクトは、H8～19の12年間の試験段階を終了し、H20からは「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」を主体として事業展開している。

<ニシン種苗放流尾数(実績)>

(単位:万尾)

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R2	R3
放流数	58.5	73.0	73.0	73.0	76.8	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0

<石狩管内ニシンの漁獲状況(実績)>

(単位:トン、百万円)

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1(H31)	R2	R3
数量	760	567	1,242	1,036	1,050	968	1,381	691	990	1,514	1,385	1,761	1,308	1,755	1,474
金額	381	282	552	366	366	309	454	251	439	596	582	636	355	416	484

資料:石狩湾漁協

(8) 内水面漁業

管内の内水面漁業は、石狩川(一部支流を含む)と支笏湖において営まれている。

石狩川では、わかさぎ、川がに(もくずがに)、いとよ、やつめうなぎ、えび類が漁獲され、令和2年では数量で33トン、金額で16百万円となっている。

一方、支笏湖ではひめますが漁獲され、令和2年において、支笏湖漁業協同組合による漁獲と遊漁者による釣果を合わせて、数量で11万尾、30トン、金額で16百万円となっている。(ヒメマスのトン数、金額は尾数からの換算数値(漁協調査))

(9) 漁業金融対策

① 漁業近代化資金

漁業者等の資本整備の高度化を図り、その経営の近代化に資することを目的として、漁業協同組合等の融資機関が漁業者等に長期かつ低利の施設資金等を融資できるように利子補給を行っている。

② 沿岸漁業改善資金

沿岸漁業者等が経営や生活の改善、青年漁業者の養成確保等を図ることを助長するため、道が国の補助を受けて造成した資金を、道が無利子で貸し付けを行っている。

③ 漁業振興資金

経営基盤の脆弱な主として20トン未満の漁船を使用する沿岸漁業者に対し、低利な経営資金の融通を円滑にするため、道が融資機関（北海道信用漁業協同組合連合会）に利子補給措置を講ずることにより、沿岸漁業者等の漁業経営の安定向上を図っている。

①～③の各資金の年度別融資承認状況は次のとおり。

（単位：件、千円）

区分	漁業近代化資金		沿岸漁業改善資金		漁業振興資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成20年度	0	0	1	4,700	7	23,650
平成21年度	2	31,000	2	11,600	3	13,000
平成22年度	0	0	0	0	5	25,000
平成23年度	1	23,900	1	6,400	4	20,000
平成24年度	5	54,800	0	0	4	20,000
平成25年度	7	24,600	0	0	2	10,000
平成26年度	6	101,460	0	0	2	10,000
平成27年度	1	8,800	0	0	2	10,000
平成28年度	9	47,540	0	0	2	10,000
平成29年度	5	59,700	0	0	2	10,000
平成30年度	9	56,060	0	0	2	10,000
令和元年度 (平成31年度)	8	43,940	0	0	2	7,500
令和2年度	1	2,800	0	0	2	10,000
令和3年度	4	30,290	0	0	2	6,000

（10）石狩後志海区漁業調整委員会

海区漁業調整委員会は、漁業法により、漁業に関する次の事項等処理するため、定められた海区ごとに設置された委員会で、地域の漁業調整を担っている。

海区漁業調整委員会の権限は、次のように漁業法で定められている。

- ・ 漁業権の免許を実質上決めること
- ・ 漁業調整に関する指示権を有すること
- ・ 入漁権の設定、変更、消滅の裁定をすること
- ・ 土地及び土地の定着物の使用権の設定、変更、解除の裁定をすること
- ・ 漁業調整規則の制定、改廃について知事に意見をいうこと

海区委員会は15名の委員で組織され、令和3年から公募により知事が選任することとなった。

第22期 石狩後志海区漁業調整委員会名簿

任期：令和3年4月1日～令和7年3月31日

職名	氏名	選任区分	主な公職等
会長	濱野 勝男	漁業者	島牧漁業協同組合代表理事組合長
副会長	佐藤 一義	漁業者	(元) 東しゃこたん漁業協同組合組合長
副会長	池守 力	漁業者	古宇郡漁業協同組合代表理事組合長
副会長	丹野 雅彦	漁業者	石狩湾漁業協同組合代表理事組合長
委員	小西 正之	漁業者	寿都町漁業協同組合代表理事組合長
委員	松尾 英二	漁業者	(元) 東しゃこたん漁業協同組合副組合長理事
委員	川内谷 藤一	漁業者	余市郡漁業協同組合理事
委員	野崎 泰生	中立	島牧村副村長
委員	池田 幸雄	中立	神恵内村副村長
委員	伊藤 保夫	後業者	小樽機船漁業協同組合代表理事組合長
委員	上山 稔彦	漁業者	石狩湾漁業協同組合副組合長理事
委員	太田 誠	漁業者	岩内郡漁業協同組合代表理事組合長
委員	鎌田 英暢	中立	石狩市副市長
委員	佐藤 昌紀	学識経験	前古平町副町長
委員	中村 貞夫	漁業者	小樽市漁業協同組合理事

(11) 石狩・後志管内漁業士会

北海道漁業士制度は、漁業者のうち指導的な立場にある者を漁業士として認定し、地域漁業の優れた担い手として育成することを通して、漁村の活性化を目的として創設された制度である。

石狩・後志管内における漁業士の組織としては、平成3年1月に「石狩・後志管内漁業士会」、また、全道の漁業士による組織として、平成4年1月に「北海道漁業士会」が設立されている。

① 近年の活動状況について

石狩・後志管内漁業士会における近年の活動としては、魚食普及や地域水産物PRのため親子あるいは成人を対象とした水産教室の開催、サクラマスの河川生息環境の改善を目的とした魚道清掃、また漁業士個々の資質向上のため、各種研修会への参加などの活動を行っている。

<石狩湾漁協の漁業士名簿>

(令和3年4月1日以降)

	認定年度	氏 名	地区	備 考
指導漁業士	平成20年度	中 井 寿美子	厚田	女性漁業士
	平成20年度	清 水 周一郎	石狩	
	平成20年度	藤 卷 信 三	浜益	
青年漁業士	平成26年度	木 村 誠	厚田	
	令和元年度 (平成31年度)	釣 本 明 雅	石狩	
	令和2年度	鳴 海 翔	浜益	

② 近年の活動について

	月日	内容	実施場所	対象及び人数		実施内容
①	9月上旬	親子水産教室	仁木町	仁木町内小学生・幼児親子	30名	令和2年度と3年度コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため計画を見送り、中止となっている。
②	9月下旬	岩見沢市立志文小学校出前授業	岩見沢市立志文小学校	志文小学校5年生	48名	
③	1月下旬	漁師が教える水産教室	石狩市	石狩市民	20名	

③ 石狩湾漁協厚田地区女性部の取組について

漁業士の中井寿美子さんが中心となり、平成28年～30年にかけて石狩湾漁協厚田地区女性部が実施した「厚田漁港ペイント事業」が、令和2年度「第66回全道青年・女性漁業者交流大会」で発表された。

大会での審査の結果、「第26回全国青年・女性漁業者交流大会」へ出場し、JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞を受賞した。



(H28～H29実施 厚田漁港新西側防波堤)



(H30実施 厚田漁港北護岸胸壁)

令和2年 地区別魚種別海面漁業生産高

(単位：トン、千円)

地区名 魚種名	石狩市						石狩振興局合計			
	石狩市		浜益		厚田		石狩		石狩振興局合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
にしん	1,761	415,956	209	51,767	876	215,938	675	148,251	1,761	415,956
さけ	2,027	1,244,306	482	291,930	759	471,822	786	480,554	2,027	1,244,306
ひらめ	45	28,770	6	3,859	16	11,572	23	13,338	45	28,770
かれい	139	31,995	10	2,436	67	17,802	61	11,756	139	31,995
はたはた	1	1,429	0	81	1	1,115	0	233	1	1,429
そい類	16	4,236	9	2,448	6	1,605	1	182	16	4,236
その他の魚類	210	44,397	71	15,778	32	6,515	110	22,107	210	44,397
魚類計	4,199	1,771,089	787	368,299	1,757	726,369	1,656	676,421	4,199	1,771,089

いか類	20	11,766	0	11	20	11,755	0	0	20	11,766
たこ	111	52,487	66	27,520	34	18,631	11	6,336	111	52,487
なまこ	28	87,844	26	83,964	0	0	2	3,880	28	87,844
えぞばふんうに	0	2,775	0	1,282	0	1,451	0	42	0	2,775
きたむらさきうに	1	6,341	0	3,584	0	1,085	0	1,671	1	6,341
しゃこ	20	35,802	0	2	8	7,905	12	27,895	20	35,802
その他の水産動物	4	2,465	0	59	0	225	3	2,181	4	2,465
水産動物計	184	199,479	92	116,422	62	41,052	28	42,005	184	199,479

ほたて貝	355	59,507	345	56,406	10	3,101			355	59,507
ほっき貝	3	1,168	0	120	3	1,048			3	1,168
あわび	0	107	0	107					0	107
その他の貝類	2	607	1	348	0	257	0	1	2	607
貝類計	360	61,389	346	56,981	13	4,406	0	1	360	61,389

こんぶ	3	2,697			3	2,697			3	2,697
その他の海藻	0	2			0	2			0	2
海藻計	3	2,699	0	0	3	2,699	0	0	3	2,699

合計	4,746	2,034,655	1,226	541,703	1,835	774,526	1,683	718,427	4,746	2,034,655
----	-------	-----------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	-----------

ほたて稚貝	620	222,801	488	182,937	133	39,864	0	0	620	222,801
ほたて半成貝	40	8,027	2	288	38	7,739	0	0	40	8,027

総計	5,406	2,265,483	1,716	724,928	2,006	822,129	1,266	718,427	5,406	2,265,483
----	-------	-----------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	-----------

※しゃこ・ほたて稚貝・半成貝は、漁協資料、それ以外は北海道水産現勢による

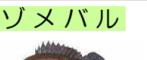
令和2年 内水面漁業生産高

(単位：kg、千円)

市町村 魚種名	石狩市		江別市		合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
やつめうなぎ	2,415	1,272	128	385	2,543	1,657
わかさぎ	4,293	2,670			4,293	2,670
いとよ	80	61			80	61
えび類			381	457	381	457
しらうお						
川がに	9,294	1,951	16,344	9,555	25,638	11,506
しじみ						
その他	64	26				
合計	16,146	5,980	16,853	10,397	32,935	16,351

※漁協調べ

石狩管内のさかなの旬

魚種 / 産地	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ヒメマス  支笏湖						■	■	■				
サケ  石狩 厚田 浜益									■	■	■	
ニシン  石狩 厚田 浜益	■	■	■									
ナマコ  石狩 厚田 浜益						■	■	■				
ホタテガイ (成貝)  石狩 厚田 浜益				■	■	■	■	■	■	■	■	■
ホタテガイ (半成貝)  石狩 厚田 浜益			■								■	■
ホタテガイ (稚貝)  石狩 厚田 浜益				■	■	■						
ヒラメ  石狩 厚田 浜益	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
カレイ  石狩 厚田 浜益	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ハタハタ  石狩 厚田 浜益											■	■
ワカサギ  石狩 厚田 浜益					■							
ミスダコ  石狩 厚田 浜益	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
シャコ  石狩 厚田 浜益				■	■	■						
ホッキガイ  石狩 厚田 浜益							■	■	■			
キタムラサキウニ  石狩 厚田 浜益							■	■	■			
キアンコウ  石狩 厚田 浜益				■	■	■	■	■	■	■	■	■
エソメバル  石狩 厚田 浜益			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ワタリガニ  石狩 厚田 浜益				■	■	■	■	■	■	■	■	■

※H28漁協漁獲データを基に作成のため、年によって変動あり